

# GW2050 PROJECTS 基本構想(案)と検討内容

---

基地返還跡地の一体的利用と那覇空港機能強化

GW2050 PROJECTS 推進協議会  
2025年3月

普天間飛行場

牧港補給地区

## GW2050 PROJECTS スタートの背景

個別に跡地利用計画の調査・検討が進められてきた

全県俯瞰的なビジョンを踏まえ、  
4つのエリアが相互に連携し機能分担する  
一体的な成長戦略を構築

各エリア単体で得られる以上の地域発展性

沖縄における自立型経済の象徴的存在、  
真に日本を牽引する経済発展モデルを目指す

那覇港湾施設

那覇空港

## GW2050 PROJECTS 推進体制

- ✓ 地域と密接し大胆かつ柔軟に。そしてスピード感
- ✓ 経済界を中心とした民間主導、基地を有する3市との密接な連携

# 1 GW2050 PROJECTS の概要

那覇空港から普天間飛行場に至るエリアを価値創造重要拠点と位置づけ次代の沖縄の進化を象徴する「世界に開かれたゲートウェイ」として将来像の具現化を図る

## Gate Way 2050

世界と日本を繋ぐ2050年の沖縄

### 01 価値創造重要拠点

更地からの広範囲での面的開発が期待できる基地返還予定地は、沖縄が飛躍的に発展し、日本経済を牽引するポテンシャルであり、特に那覇港湾施設、牧港補給地区、普天間飛行場周辺エリアにおいては、世界に選ばれる沖縄を目指した中心的なフィールドとして県全体での役割・機能分担を見据えた機能的なまちづくりに繋げていく。

また、大規模まちづくりと連動し、観光・産業の玄関口である那覇空港の機能強化・拡充を図る。



### 01 価値創造重要拠点

### 02 価値創造を支える4つの柱

価値創造重要拠点における「沖縄らしい産業の創出」「持続的発展を担う人材育成」「那覇空港を起点とした交通網の整備」および2050カーボンニュートラルに向けた「クリーンエネルギー社会の実現」の4つの柱を中心に、国際競争力の強化を図る。

- ### 02 価値創造を支える4つの柱
- 1 新たな産業
  - 2 高度人材育成
  - 3 空港起点の交通ネットワーク
  - 4 カーボンニュートラル

# (参考) 価値創造重要拠点の全体像(イメージ)

※ 各拠点のエリアや交通、コンセプト等はいくまでも仮置きとして設定  
今後、深化した検討を伴う検証を要する

価値創造重要拠点

交通アクセス

交通結節点

普天間飛行場エリア 476ha

牧港補給地区エリア 270ha

那覇港湾施設エリア 56ha

那覇空港エリア

世界最高水準の拠点空港化

各拠点間を円滑に  
結ぶ交通インフラ



# (参考) 価値創造を支える4つの柱

## 1 産業

- ・ 沖縄が日本経済を牽引し、強い沖縄経済を目指すためには、既存産業の高度化・高付加価値化を図りつつ、沖縄らしさや、沖縄科学技術大学院大学(OIST)等の高い基礎研究力を活かした国際競争力のある新たな産業の創出と活性化が求められる。
- ・ 沖縄の立地特性を生かしたグローバル産業の集積や、空港機能の強化・拡充と連動した新産業モデル(MRO等)に加え、6次産業化等の今後の沖縄県の産業・地域経済を支える柱となる次世代産業について検討・深掘する。

## 2 人材育成

- ・ 沖縄の持続的発展のためには、高付加価値産業を支える人材が特に重要なことから、次代の沖縄を担う人材の育成に積極的に取り組むこととし、産業モデルの検討と合わせた段階的な人材育成モデルを検討。
- ・ 観光の質向上を支える高度観光人材や、DX人材、経営人材、グローバル人材等の育成を積極的に行うことにより、国際競争力強化を目指す。
- ・ また世界最高水準の教育研究を行うOISTを活かした科学技術人材、新産業人材育成の拠点形成を目指す。

## 3 交通

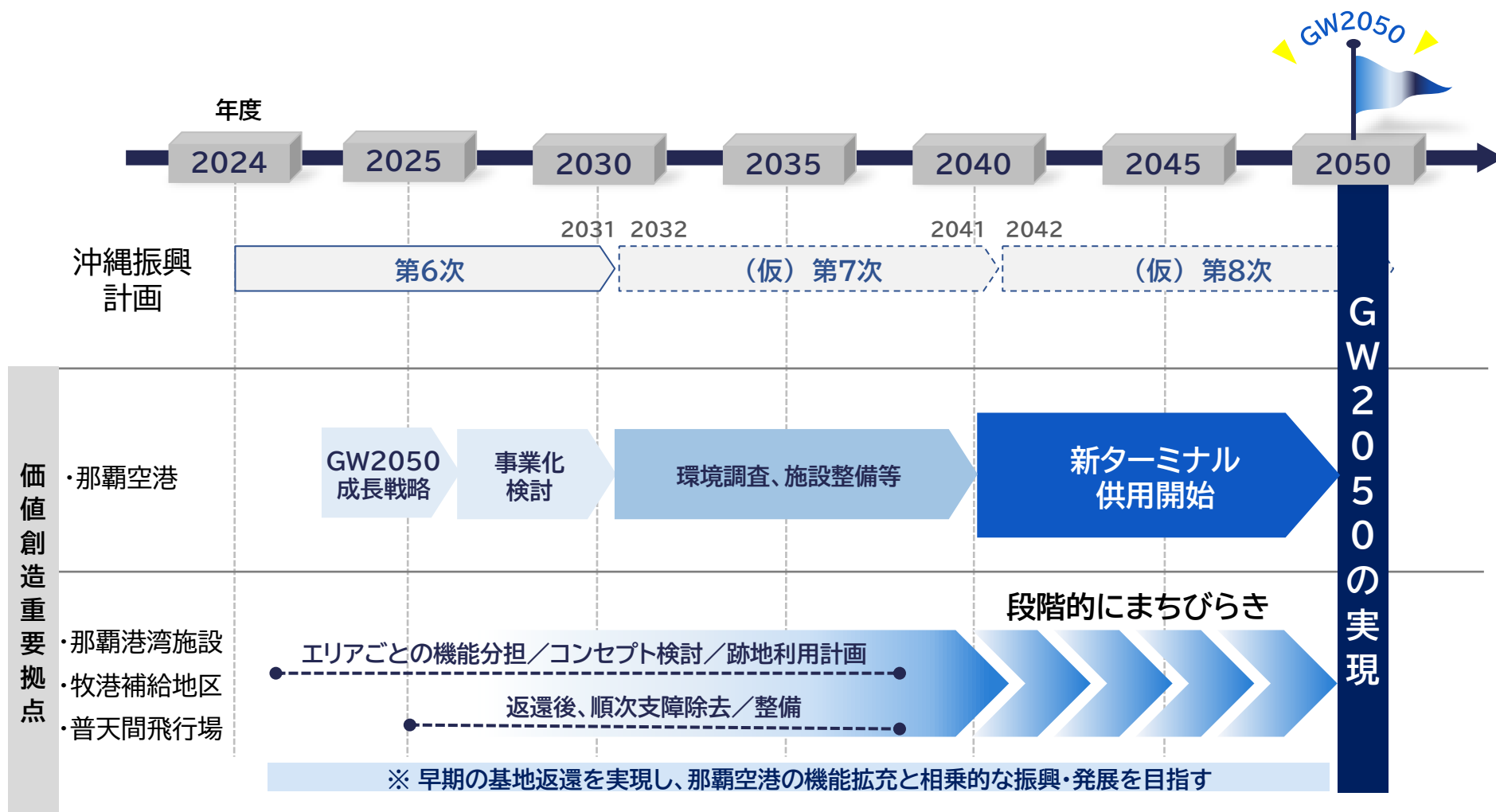
- ・ 空港機能の拡充と連動し、空港を起点とした各エリア結節点への利便性を考慮した交通ネットワークを検討。
- ・ 富裕層などに対応可能な、多様な交通機能の導入により、観光産業全体の高付加価値化に繋げる。

## 4 環境

- ・ 広大な敷地を更地から開発できる強みを活かし、日本を牽引するゲートウェイとして相応しい環境配慮型の空港整備・まちづくりを推進する。
- ・ 2050カーボンニュートラルに果敢に挑戦するエリアとして、水素エネルギーの利活用等、新たな技術を積極的に実証・導入する。

## 2 GW2050 PROJECTS の時間軸

- ▶ 那覇空港については、2040年初頭までの拡張整備を目標とし、基地返還跡地については、早期の基地返還を実現し、那覇空港の機能拡充と相乗的な振興・発展を目指していく。



## (参考) 推進体制

- 次代の沖縄の進化を象徴する「世界に開かれたゲートウェイ」構想の実現のため、民間が主導し県内各経済団体、関係自治体が連携する「GW2050 PROJECTS 推進協議会」を設立。(2024年8月13日)
- 具体の検討をスピード感をもって実行するため、「GW2050 PROJECTS 事務局」を設置し、運営は、県内企業7社からなる企業会が支援。



# 調査・検討

1. 調査・検討の流れ
2. 重要論点(7つのテーマ)
3. 大規模なアウトカムの創出に向けて



## 01

【フェーズ1】

グランドデザイン

## グランドデザインの策定

アジアの中心にある沖縄の優位性を活かし、全県俯瞰的な視点で足元の課題と次代の沖縄のあるべき姿を描く。

GW2050ビジョン  
(グランドデザイン)

## 02

(フェーズ2)

個別の検討

## 価値創造重要拠点の機能・役割の明確化

基地跡地開発を、次代の沖縄へと進化するチャンスと捉え、各エリアの機能分担や沖縄らしい産業モデル等、具体的な戦略を策定する。

## 具体策の策定

- ・既存産業強化、新産業の創出
- ・産業を支える人材育成モデル
- ・玄関口としての空港機能
- ・空港と各エリアを繋ぐ交通ネットワーク
- ・カーボンニュートラル

## 03

アウトカム

## 日本を牽引する経済モデルの実現

関係団体・企業・自治体・住民が、成長戦略に基づき中長期的に取り組むを実行することで、真に日本を牽引する沖縄を実現する大規模なアウトカムを創出する。

短期～中期のアウトカム、  
最終アウトカムの創出

## 2 GW2050ビジョン策定に向けた重要項目

|         |                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 産業まちづくり | <ul style="list-style-type: none"><li>日本を牽引する沖縄を実現するために、<b>世界水準の成長率(約3%)の持続的達成</b>や<b>全国の7割にとどまっている県民所得向上</b>の実現に向けた施策</li><li>観光含む既存産業の強化に加え、「<b>世界の産業潮流</b>」や「<b>沖縄の競合優位性</b>」から選定した<b>成長産業</b>の具体化、立地特性を活かした<b>グローバル産業誘致</b>により世界をリードする沖縄を目指す</li></ul> |
| ひとづくり   | <ul style="list-style-type: none"><li>成長産業の実現に向け、経営人材やビジネス人材など<b>高付加価値化</b>のための<b>沖縄らしい人材育成・外部誘致策</b></li><li><b>グローバル都市</b>を目指すための<b>英語教育</b>や<b>国際基準の教育制度の導入</b>、<b>アジアの人材ハブ化</b></li></ul>                                                              |
| くらしづくり  | <ul style="list-style-type: none"><li>県民所得の増加や、<b>県民の豊かなくらしづくり</b></li><li>県民が沖縄の成長を実感し誇りに思い、住まう喜びを持てるような生活環境や街の在り方、経済、社会の好循環により、歴史、文化、自然、社会の持続可能性を高める</li></ul>                                                                                           |
| 環境      | <ul style="list-style-type: none"><li><b>空港・港湾、基地返還跡地、及び後背地・物流を対象として、沖縄の島嶼地域の特性を踏まえた、カーボンニュートラルの取組</b></li><li>沖縄ならではのカーボンニュートラルの取組を通じて、海外・県外への技術・仕組みの輸出や、他産業との掛け合わせによる付加価値創出など<b>経済成長</b>にも繋げる仕組み</li></ul>                                               |
| 制度      | <ul style="list-style-type: none"><li><b>沖縄振興特別措置法</b>など沖縄特有の制度の活用を含め、成長産業の実現のための<b>規制緩和</b>や<b>新制度導入</b>、<b>税制優遇</b>など制度面の施策</li><li><b>円滑な跡地開発</b>のために必要な制度面の施策</li></ul>                                                                                |
| 空港・港湾機能 | <ul style="list-style-type: none"><li><b>まちの経済発展とリンクした空港及び港湾機能強化の在り方</b><br/>(高付加価値化、富裕層の受け入れ、人材確保、環境、県内の物流拠点整備等)</li></ul>                                                                                                                                |
| 交通機能    | <ul style="list-style-type: none"><li><b>交通の実態に関するデータに基づき、空港を起点とした普天間飛行場までの基幹交通、交通結節点からの地域交通ネットワークの在り方</b></li></ul>                                                                                                                                       |

### 3 大規模なアウトカムの創出に向けて

本事業のアウトプットを指針に、多様なステークホルダーが基地返還を沖縄成長の起爆剤にするべく取り組みを具体化/加速し、広範囲かつ大規模なアウトカムを創出することで、日本を牽引する経済発展モデルを構築する。

#### 本事業のアウトプット

##### 目指す姿

沖縄のグランドデザイン

那覇港湾施設

牧港補給地区

普天間飛行場

那覇空港

##### 4つの柱

【産業】既存産業拡充、経済成長に繋がる新産業、経済支援、税制等

【高度人材育成】産業発展を支える観光・経営・DX・グローバル人材の人口、スキル、育成モデル等

【交通】空港起点の二次交通エリア間の交通ネットワーク

【カーボンニュートラル】クリーンエネルギー社会の具体策

##### ロードマップ

主要な施策や提言

KPIや体制の時間変化

#### 中間アウトカム：目指す姿の実現やリソース充足に向けた取り組み

短期

中長期

|                 |                |              |                       |
|-----------------|----------------|--------------|-----------------------|
| 基地跡地<br>地権者/開発者 | 都市の利用計画        | 基地跡地の基本計画    | 基地跡地の建設/運営            |
|                 | 地権者の整理         | 開発資金の調達      |                       |
| 観光              | サービス/ファシリティの改善 | 宿泊/飲食 施設の増設  | 観光客の増加                |
|                 | 観光人材の育成        | 県外労働力の確保     |                       |
| 産業              | 県内産業DXの実証      | 新産業創出の実証     | 沖縄産業の創出               |
|                 | DX人材の育成        | 海外産業の誘致      |                       |
| 環境              | 脱炭素技術の実証       | 産業の脱炭素化      | 脱炭素技術の都市実装            |
| 空港運営会社<br>/国交省  | 現空港のソフト/運営の高度化 | MRO事業の拡大     | 新ターミナルの建設             |
|                 | 短距離航空路線の呼び込み   | 長距離航空路線の呼び込み |                       |
| 交通機関            | LRTの計画         | 自動運転の実証      | LRTの建設                |
|                 | オンデマンド交通の実証    | 自動運転の社会実装    |                       |
| 国/県/市           | 実証補助予算の拡大      | 基地の返還交渉      | 沖縄成長モデルの<br>日本国内への横展開 |
|                 | 規制緩和/税制優遇      | 環境保護         |                       |

個別の取組については、フェーズ1、2の検討の中で具体化していく予定

#### 最終アウトカム

住民のウェルビーイング向上

地価の向上

観光客数/日数/消費金額の増加

県民所得の増加

沖縄経済の規模拡大

カーボンニュートラルの実現

空港利用者の増加  
(到着/乗継)

ヒト/モノ/カネの  
流動性拡大

沖縄/日本の税収増加

日本を牽引する  
経済発展モデル